

重層的支援体制整備に係る プロジェクトチーム検討事項

重層的支援体制整備プロジェクトチーム

包括的相談支援の在り方に係る検討事項について

- 総合相談窓口の設置の必要性及びメリット・デメリットについて
- 身近な地域での相談機能の必要性及びメリット・デメリットについて
- 身近な地域での相談対応を実施する場合、どのような方法があるか
- 既存の各相談支援機関においても、相談を包括的に受け止めるためにはなにが必要か
- 既存の各相談支援機関と多機関協働が相互に連携するために必要なことについて

多機関協働の在り方に係る検討事項について

- 多機関協働担当部署に窓口機能を持たせるか
- 司令塔機能を果たすにはどのような役割を担うべきか
- 多機関協働業務の運営形態について（直営・委託、配置職員の資格）
- 重層的支援会議、支援会議の在り方・構成員等について
- 既存会議体との関係性の整理について
- 狭間や制度外利用者への緊急一時保護対応について
- 外部関係機関も含めた勉強会・連絡会・ネットワーク会議等について
- システム導入について

アウトリーチの在り方に係る検討事項について

- アウトリーチに求められる機能として「対象者の早期発見」と「発見された対象者との関係構築・伴走支援」が挙げられるが、どのように実施していくか（ネットワークによる連携で対応するものはあるか）
- 対象者の早期発見に資する取組としてどのようなものが考えられるか
- アウトリーチ事業者と地域づくりを担うコーディネーターとの関係・役割分担について
- 対象者への関係構築・伴走支援を行う際の他の相談支援機関との関係・役割分担について
- 「支援会議」や「アウトリーチ支援員」等の似たような制度設計がされている「生活困窮者自立支援制度」との役割分担について
- 終結判断の基準について

参加支援の在り方に係る検討事項について

- 参加支援に求められる機能として、「対象者のマッチング及び伴走支援」、「受入先の確保・開拓」が挙げられるが、どのように実施していくか（ネットワークによる連携で対応するものはあるか）
- 受入先提供方法としては「インフォーマルな受入先の紹介」、「既存公的サービスの制度外利用」、「制度の狭間の人向けの公的サービスの新規創設」が考えられるが、それぞれについてどのように考えるか
- 就労的側面も含め、受入先の確保に当たってどのような団体等との連携が必要か
- 受入先の「整理とリスト化」について
- 重層事業対象外の方も視野に入れた参加支援の検討について（ポピュレーションアプローチの視点）

地域づくりの在り方に係る検討事項について

- 地域づくりにおいては、「居場所・交流の場の確保」、「地域づくりを担うコーディネーターの配置とプラットフォーム構築」が求められているが、どのように実施していくか
- 「居場所・交流の場」についてどのように考えるか
- コーディネーター・プラットフォームについて、重層事業の必須事業として挙げられている生活支援体制整備事業をどのように考えるか
- 身近な地域での相談と生活支援コーディネーターの関係・役割分担をどのように整理するか
- プラットフォームとして地域のネットワークをどのように構築するか
- 地域づくりについては、福祉の観点に限ったとしても、時間をかけて丁寧に検討することの必要性について